学校番号	413

平成 31 年度地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史改訂版」（山川出版社・世Ｂ310）						
副教材等	「アカデミア世界史」（浜島書店）　詳説世界史Ｂ整理ノート（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

＊ 世界の歴史をふりかえることで、これからの世界のありようをグローバルに捉える思考を持つ。
＊ さまざまな資料を通して今日的な課題を見出し、その解決に向かう技能を身につける。
＊ 人類が育んできた文化の多様性を学び、たがいに理解し尊重する態度を大事にする。

2　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに世界を形成する一員としての態度を身につけている。	広い視野をもって世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえて判断して、その過程や結果、また今後の展望を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、主体的に情報を選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。	文化の多様性も含め、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、世界の歴史についての基本的な事柄を理解しその知識を身につけている。
評価方法	定期考査 ワークシート レポート 授業態度	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート プレゼンテーション	定期考査 ワークシート レポート
	［主題学習］ レポートの内容	［主題学習］ レポートの表現力	［主題学習］ レポート・プレゼンテーションの資料構成	［主題学習］ 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	先史の世界	・人類の進化 ・農耕牧畜 ・文明の成立	 ○ ○	○ 	○ 	 ○ ○	a：文明の特徴を理解し、人種や民族、語族といった概念を関心を持って学習しようとしている。 b：人類の進化の過程、農耕・牧畜の開始の意義などを、多角的に考察し、文章にまとめる。 c：進化図や道具図、洞穴絵画などの図版や写真、教科書に掲載されている諸言語の系統分類表を適切に活用している。 d：人類の進化、文明の成立、人類と言語の分化に関する基本的な知識を身につけている。	ワークシート 授業態度
	オリエントと地中海世界	・古代オリエント世界 ・ギリシア世界 ・ローマ世界	○ ○	 ○ 	 ○	 ○ ○	a：オリエントの影響を受けたエーゲ文明とポリスを中心とするギリシア文明の意義を探究しようとしている。 b：ギリシア文明がアレクサンドロスの遠征で広く西アジア一帯に伝えられたことや、民主政治がのちの世界に与えた影響を考察し、文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているギリシア世界の地図やアテネ市街図・重装歩兵の図版、文化一覧表などの諸資料を適切に活用している d：ローマの帝国化の過程やローマ法、皇帝理念、キリスト教などについて把握し、基本的な知識を身につけている。	ワークシート 授業態度

1学期	アジア・アメリカの古代文明	・インドの古典文明 ・東南アジアの諸文明 ・中国の古典文明 ・南北アメリカ文明	○ ○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○ ○ ○	a：東南アジアの諸民族独自の歩みや国家形成を、南アジア文明や中国文明の影響と関連させながら学習しようとしている。 b：東南アジアの諸民族が海上交易の拡大に伴って港市国家を形成・発展させていった過程を多角的に考察して把握し、文章にまとめる。 c：農耕を中心とする東アジアの社会や生活、文化や思想に関する資料を収集し、考察した結果を適切に表現している。 d：アメリカ先住民の農耕文明や、マヤ・アステカ・インカといった南北アメリカ諸文明の特色を把握し、その基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	内陸アジア・東アジア世界の形成	・草原の遊牧民とオアシスの定住民 ・北方民族の活動と中国の分裂 ・東アジア文化圏の形成		○ ○ ○	○ ○ ○		b：内陸アジア東部に進出した匈奴を代表とする騎馬遊牧民の動向を、その文化や軍事力と関連づけて考察し、文章にまとめる。 b：教科書に掲載されている分裂時代の諸王朝の領域図や、魏晋南北朝の系統図などの資料や図版を適切に活用している。 c：正倉院・ササン朝のガラス工芸品の図版などから、文化の密接な交流の例を調べている。	ワークシート レポート 授業態度

1学期	イスラーム世界の形成と発展	・イスラーム世界の形成 ・イスラーム世界の発展 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 ・イスラーム文明の発展	 ○ 	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	a：イスラーム帝国の統治システムについて、関心を持って学習しようとしている。 b：アラブ帝国とイスラーム帝国の差異、イスラーム世界の拡大について、多角的に考察し、文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているイスラーム以前の西アジアの地図やイスラーム世界の領域図、ウマイヤ＝モスクやコルドバのモスクなどの写真を適切に活用している。 d：イスラームの特質やその形成過程について、基本的な知識を身につけている。	ワークシート 授業態度
	ヨーロッパ世界の形成と発展	・西ヨーロッパ世界の成立 ・東ヨーロッパ世界の成立 ・西ヨーロッパ中世世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化	○ ○ ○ 	 ○	 ○	○ ○ ○ 	a：フランク王国とローマ教皇の提携の意義、ノルマン人などの諸民族侵入の影響について、関心を持って学習しようとしている。 b：修道院運動やイスラーム文明の影響など、中世ヨーロッパ文化を多面的に考察し、文章にまとめる。 c：教会建築や騎士道物語、当時の農民や都市の生活の様子を理解する図版などにより、中世ヨーロッパ社会の特色に触れることができている。 d：ヨーロッパ封建社会の変容、中世都市と商業の発展、諸国の国王による中央集権化の過程に関する基本的な知識を身につけている。	ワークシート 授業態度

1 学 期	内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・トルコ化とイスラーム化の進展 ・東アジア諸地域の自立化 ・・モンゴルの大帝国	○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○	a： インドや東南アジア、アフリカのイスラーム化とその地域に与えた影響について、意欲的に学習しようとしている。 b： インドや東南アジアなど諸地域世界のイスラーム化の影響を、現代の国際政治・社会の視点から考察し、文章にまとめる。 c：インドや東南アジアへのイスラームの伝播を示す地図、アフリカのイスラーム化に関する地図や図版などを適切に活用している。 d： モンゴル人が築き上げたネットワークと、14 世紀以降、その再編・解体がもたらした諸地域世界への影響に関する基本的な知識を身につけている。	授業態度 定期考査 レポート
2 学 期	アジア諸地域の繁栄	・東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接諸地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	○ ○ ○ 	 ○	 ○	○ ○ ○ 	a：明朝の経済的繁栄と銀経済の進展、科学技術への関心を特色とする文化活動について、関心を持って学習しようとしている。 b：清朝の中国統治や宣教師によってもたらされた文化の特色、その隣接諸地域の動向に関する基本的な知識を身につけている。 c：ムガル帝国の支配の特色やその政策の変化を、インドの地方勢力に与えた影響と関連づけて考察し、文章にまとめる。 d：ティムール朝、オスマン帝国、サファヴィー朝の領域拡大の過程や興隆について、関心を持って学習しようとしている。	ワークシート 授業態度

2学期	近世ヨーロッパの形成	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a：大航海時代を世界の一体化や資本主義経済発達の基盤と関連づけて考察し、文章にまとめる。 b：教科書に掲載されている作品群やルネサンス期の文化と美術の一覧表などを適切に活用している。 c：宗教改革の背景と影響、宗派や広がった国家による差異に関して、意欲的に学習しようとしている。 d：三十年戦争に代表される、17世紀前半の「危機の時代」におけるヨーロッパ諸国の動向に関して、基本的な知識を身につけている。	ワークシート 授業態度
	近世ヨーロッパ世界の展開	・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18世紀のヨーロッパの文化と社会	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a：イギリス革命やフランスを中心とした国家間の抗争、東ヨーロッパ諸国の台頭を、関心を持って学習しようとしている。 b：17～18 世紀におけるヨーロッパ文化の特色を、宮廷文化と市民文化とを対比しながら考察し、文章にまとめる。 c：バロックやロココの美術作品の図版や啓蒙思想家の著作から、その文化の特色に触れることができている。 d：西ヨーロッパ諸国の経済活動と植民地争奪戦争の状況、その結果としてアメリカ・アフリカを巻き込んだ大西洋世界に近代分業システムが成立したことに関して、基本的な知識を身につけている。	ワークシート 授業態度

2学期	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	 ○ ○	○ 	○ ○ ○	 ○ ○	a：資本主義体制の確立と社会の変容について、社会問題・労働問題と関連づけて考察し、文章にまとめる b：産業革命の世界史的背景、技術革新や交通革命の進展と波及について、関心を持って学習しようとしている。 c：「人権宣言」や革命期のおもな党派などの資料、ナポレオンの活動を表現した絵画や図版などを適切に活用している。 d：共和政の大国を確立したアメリカの独立と、その憲法の内容や思想的背景を関心を持って学習しようとしている。	定期考査 ワークシート 授業態度
	欧米における近代国民国家の発展	・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ・南北アメリカの発展 ・19世紀欧米の文化	○ ○ ○	 ○	 ○	○ ○ ○	a：ウィーン体制の特色とその崩壊過程、社会主義思想の成立と普及について、関心を持って学習しようとしている。 b：ロマン主義や自然主義などの文芸思潮を、自由主義やナショナリズムの進展といった社会状況と関連づけて考察し、文章にまとめる。 c：19 世紀欧米文化の美術作品の図版や文学作品などの一覧表から、その文化の特色に触れることができている。 d：ラテンアメリカの独立の経過、アメリカ合衆国の西部への領土拡張や、南北戦争以後、世界一の工業国として発展したことに関する基本的な知識を身につけている。	ワークシート 授業態度

2学期	アジア諸地域の動揺	・オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	○ ○ ○	○	○	○ ○ ○	a：世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国と西アジア地域の変容について、関心を持って学習しようとしている。 b：西アジアでイスラーム教の伝統に回帰する動きやアラブ人のナショナリズムの萌芽がみられたことを、上からの近代化と比較しながら考察し、文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているインド・東南アジアの植民地化を示す地図、図版や写真などの諸資料を適切に活用している。 d：アヘン･アロー両戦争やロシアの進出により清帝国が動揺し、洋務運動に代表される近代化への取り組みが始まったことに関して、基本的な知識を身につけている。	ワークシート 授業態度
	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	○ ○	○	○	○ ○	a：欧米列強では軍事力の強化がはかられる一方で労働運動が高まりを見せるなど、国内の緊張が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている b：経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化が、世界各地の社会の変容に与えた影響について考察し、文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているアフリカ・アジア・太平洋地域の関連地図、同盟・協商関係図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d：中国分割の危機と辛亥革命、インド、東南アジア、西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。	ワークシート 授業態度

2 学 期	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦	○ ○ ○ ○	○	○	○ ○ ○ ○	a：第一次世界大戦勃発の経緯、戦時外交と総力戦の性格について、関心を持って学習しようとしている。 b：第二次世界大戦の開戦に至る経過、戦争の拡大と戦場の広域化、核兵器などの大量破壊兵器の被害などを、関心を持って学習しようとしている。 c：第二次世界大戦の持っていた複合的で複雑な性格を戦後の国際社会の方向性と関連づけて考察し、文章にまとめる。 d：世界恐慌の影響と欧米諸国の対応、ファシズム諸国の攻勢やソ連邦の動向に関する基本的な知識を身につけている。	レポート ワークシート 授業態度 定期考査
3 学 期	冷戦と第三世界の独立	・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り ・石油危機と世界経済の再編	○ ○ ○	○	○	○ ○ ○	a：米･ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について、関心を持って学習しようとしている。 b：西欧や日本の経済的な復興や高度成長を、戦後の国際政治に与えた影響と関連づけて考察し、文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている朝鮮戦争の戦場をあらわす地図、冷戦時代の諸同盟や先進国の経済成長率などの諸資料、図版・写真を適切に活用している。 d：オイル＝ショックなど戦後政治の転換期の動向や冷戦終結への取り組みに関する基本的な知識を身につけている。	ワークシート 授業態度

3学期	現在の世界	・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困 ・現代文明の諸特徴	○ ○ ○	○	○ ○	○ ○ ○	a: 情報技術革命によって市場経済の世界化がより進展し、地球規模での相互依存が高まったことを学習しようとしている。 b: ラテンアメリカやアジアの途上国における強権支配の後退と民主化の進展について、関心を持って学習しようとしている。 c: 湾岸戦争とアフガニスタンやイラクに対する対テロ戦争における国際連合の行動の差異から、新たな国際秩序の在り方を考察し、文章にまとめる。 d: ラテンアメリカやアジアの途上国で進展した民主化の過程と、アジア社会主義諸国の経済開放政策やその変容に関する基本的な知識を身につけている。	授業態度 ワークシート プレゼンテーション

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。